令和四年度　現代文Ｂ　シラバス

学期	月	【単元名】 【教材名】	当数 配時	主な学習の目標（つけたい力）	評価
前期	4	〔自己を見つめる〕 「わたしはあなただったかもしれない」	5	・随想を読む楽しさを味わう。 ・他人の立場に立って想像してみることの重要性について、自己の生き方に引きつけて考える。	
	5	〔現代の小説〕 「デューク」	6	・小説を読む楽しさと率直な感動を味わう ・小説の構成、人物、造形、背景の把握・主題の把握 ・作者のものの考え方に対して自分の意見を持つ ・詩との触れ合いを通じて生徒の心が開かれ、豊かに生きられるひとときが増すことをねらいとする。 ・比喩・リフレイン等、詩の技法について理解する。 ・それぞれの詩の鑑賞と特質の理解	
	5	〔現代の詩〕 「発　車」 「そこに一つの席が」 「この世」 「永訣の朝」	8		
	6	〔新しい発見〕 「ヒトはなぜヒトになったか」	5	・論理的な文章について論理の展開や要旨を的確にとらえる。 ・筆者の問題提起について整理する。 ・主題の把握 ・ヒトの祖先がたどってきた変化について的確に読み取る。	
	7	〔現代の小説〕 「相棒」	5	・小説を読む楽しさを味わう。 ・短編小説としての構成・展開をとらえる。 ・発展的な読書、思索へとつなげる。	
	9	〔人間と文化〕 「情けは人の・・・」	5	・随想的な要素を持つ評論の読み方を習得する。 ・ことわざの誤用が生じる要因を読み取る。 ・筆者の言葉に対するこだわりや愛着を理解し、自らの言語生活を見つめ直す。	
後期	10	〔短歌と俳句〕 「短歌」	7	・短歌の表現法などの特色を理解する。 ・短歌を鑑賞する態度・方法を学ぶ。 ・作者の他の作品を進んで探求する態度を養う。 ・短歌の特色を理解し、自分の感性を歌にする。	
	11	「俳句」	7	・俳句の表現法などの特色を理解する。 ・俳句を鑑賞する態度・方法を学ぶ。 ・作者の他の作品を進んで探求する態度を養う。 ・俳句の色を理解し、自分の感性を句にする。	
	12	〔ファンタジーの世界〕 「ひよこの目」	5	・登場人物の心情や情景を、叙述の即して確実にとらえる。 ・全体の構成を理解し、ファンタジーを読み味わい、鑑賞する力を養う。 ・作品における物事の象徴性をもとに、ものの見方・考え方を深める。	
	1	〔言葉の力〕 「物語を表現する力」	6	・論理的な文章について、論理の展開や要旨を的確にとらえる。 ・言葉の本質的な力について理解を深める。 ・言葉と人間の思考の関係を把握し、「論理」の重要性について認識する。	
	2	〔近代の小説〕 「こころ」	7	・文学的な文章について、人物、情景、心情などを的確にとらえ、人間、社会について深く考えさせる。 ・ごくの意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体の修辞などの表現上の特色をとらえる。 ・作品の構成や展開の仕方を丁寧にたどり、たくみな文章を読み味わう。 ・人物の生き方やその表現の仕方などについて意見を書く。	
	3	〔時代と人間〕 「食と想像力」	4	・自己を取り巻く時代状況に目を向け、自己のあり方を考える。 ・個性的な文体に注目し、筆者の批判精神のあり方をとらえる。	